

平成29年4月30日  
今週のベストショット



奈多グラウンド 奈多サンデーズ 対 三苦フレンズ戦

4打数4安打2HRを放ったフレンズ生野拓磨選手と14奪三振、2試合連続勝利の山口和也投手。

写真：三苦三球会 船橋 史哉

雁レクA レッドサンデーズの元気BOY・開幕ショー！

雁の巣ライナーズ（1勝1敗）000004 4 ●有馬一明瀬航

レッドサンデーズ（1勝1敗）160000x 7 ○古賀、塚本一八島

2BH：中口（雁の巣）嶋村（レッド）盗塁：久保田、明瀬航（雁の巣）古賀2、川原、神田、近藤（レッド）

レッドサンデーズ先発古賀開投手が豪打を誇る雁の巣ライナーズを五回1安打無失点の快投。四回表、ライナーズ中口選手に中前に落ちる初安打を許すも後続を三振に打ち取る。攻撃も初回から先頭古賀選手が四球とすかさず盗塁。二番川原選手が捕手前に転がす絶妙なバントを見せ、本塁が空いたところを古賀選手が見流さず効果的な先取点。二回裏もレッドは先頭七番土師選手のポテポテの当りを名手国崎三塁手がエラーなどライナーズの守備の乱れに乗じて走者をため、二番からの5連打で一挙6点。意地を見せたいライナーズは六回から登板のレッド二番手塚本投手を攻め、3点差まで追い上げるも六番明瀬旭選手が三振に打ち取られてゲームセット。レッドは新しい指揮官・八島監督（兼捕手）に初勝利をプレゼントした。（記事・写真：三苦ホーネッツ 塚 厳生）



存在感はNo. 1、レッド前田選手。



ライナーズの主砲も空砲？





序盤、手も足も出ないライナーズ岩崎監督。



二回裏、レッド四番・神田選手のタイムリー。



新指揮官とハイタッチするレッド川原 正豊選手。



好守でも魅せるレッド先発の古賀 開投手。



チーム初安打を放つライナーズ中口選手。



ライナーズキャプテン明瀬 旭選手も不発か？



神に祈る！？ベテラン久保田選手。



ライナーズの唯一の良い当たり、明瀬 航選手。





初勝利を喜ぶレッド八島新監督（兼捕手）。



花丸をもらったレッド古賀投手。

### 奈多グラウンド フレンズ生野拓磨選手2打席連続HR、山口投手14奪三振完封勝利！

奈多サンデーズ（1勝1敗）0000000 0 砂場●ー田中

三苦フレンズ（2勝）200112X 6 山口○ー佐藤（由）

HR：生野（拓）2（三苦フ） 盗塁：川上（奈多サ）吉村（雄）2、山口、畑田（三苦フ）

三苦フレンズは初回から2点を先制すると、先発山口投手が三回まで奈多サンデーズ打線に出塁を許さない完璧なピッチング。2-0で迎えた四回表、サンデーズ先頭の川上選手がこの試合の初安打を放つも、盗塁を試みてタッチアウト。それでもサンデーズ打線は、二番宮口、三番江口選手の連続安打でチャンスを作るも、後続が山口投手に抑えられ得点に繋がらない。するとその裏フレンズが1点を追加し迎えた五回裏、この回先頭の生野（拓）選手がライトへHRを放つ。何とか打線に流れを呼びたいサンデーズ先発砂場投手だったが、六回裏フレンズ生野（拓）選手に連続2ランを浴びこの試合6失点。フレンズは最後まで山口投手が無失点に抑えゲームセット。フレンズは生野（拓）選手の2HRと先発山口投手の14奪三振で勝利した。一方のサンデーズは、砂場投手が粘りのピッチングを続けるも打線が繋がらず無得点で終わった。（写真、記事：三苦三球会 船橋 史哉）



開幕戦を勝利し、2勝目を狙う両チームの整列。



14奪三振、連続完封のフレンズ先発山口投手。



奈多サンデーズ先発砂場投手。



セーフティバントで出塁したフレンズの一番吉村雄選手。





代打での出場も、きっちりバントを決めた太田選手。



二打席連続HRの生野拓磨選手。



サンデーズ打線初ヒットの川上選手。



絶妙なセーフティバントをきめた宮口選手。



投打のヒーロー、生野拓磨選手（左）と山口和也投手（右）

### 青松園A 松本、今林勇太投手の完封リレーでフェニックス快勝

ブルーマーリンズ（2敗） 000000 0 横山(祥)●-横山(健)  
 奈多フェニックス（1勝1敗） 22104× 9 松本○、今林(勇)-実延(新)

HR：藤、能丸（奈多フ） 2BH：沖2、松本（奈多フ）

快晴の中、昨年躍進したブルーマーリンズが安定した強さを誇るフェニックスにどう挑むか楽しみな試合が始まった。フェニックスの先発松本投手が初回を内野ゴロ3つで簡単に立ち上がると、裏のフェニックスは先頭の西藤選手がいきなり左翼超えの先頭打者本塁打で先制点を奪う。さらに三番沖選手が左翼へ二塁打を放ち四番安藤選手が右前安打で返す理想的な先制攻撃でこの回2点を入れた。続く二回裏も松本選手、能丸選手の適時打を放ちさらに2点追加する。何とか反撃したいブルーは三回表、一死から九番小柳選手が四球で出塁し、二死後2



塁のチャンスを作る。ここで二番末松選手が中前へ綺麗に打ち返し小柳選手が本塁突入するもセンターからのバックホームにより惜しくもタッチアウトとなり無得点で攻撃終了。五回裏のフェニックスの攻撃は先頭の今林(英)選手が左前打で出塁し、その後2つの四死球で満塁となり迎えるは二番能丸選手で見事に左超えの満塁本塁打を放ち4点を追加。最終回となる六回表この回からマウンドは今林(勇)投手にスイッチしたがいきなり二者連続三振を奪い最後は末松選手を打ち取り試合終了した。勝ったフェニックスは松本投手と今林(勇)投手の圧巻の投球に加え、安定した守備力とチャンス逃さない攻撃は流石だった。一方敗れたブルーは序盤から、どこか集中しきれてないと感じるプレーがあったりした。投手が計11個の四死球を出してしまい守備の時間が長かったのもあって、なかなか攻撃のリズムも作れなかったのも敗因のひとつだった。そこを改善出来れば昨年のような勢いを取り戻せるのではないかと感じた。(記事：新町ウインズ 野中一史・写真：早田主大)



試合前ミーティング (ブルーマーリンズ)



試合前ミーティング (奈多フェニックス)



先発した奈多フェニックス松本投手。



一回表、好守備を見せたフェニックス西藤三塁手。



先発したブルーマーリンズ横山(祥)投手。



先頭打者本塁打を放ったフェニックス西藤選手。





二回表、先頭打者の今林英二選手。



二回表、三振に倒れた実延彰洋選手。



三回表、ブルー唯一の安打でホームを狙うもタッチアウト。



この日、2打数1安打（2四球）の西藤選手。



チームを激励する阿部選手（集中しろ、楽しめ）。



五回表、バントヒットを狙う中村選手。



五回裏、満塁本塁打を放ったフェニックス能丸選手。



捕球してゲームセット（高原選手）。



## 青松園B 奈多クラブ馬場口選手の起死回生の一打で連勝！

三友クラブ（1勝1敗）0101 2 足達●、尾澤一谷崎

奈多クラブ（2勝） 0103 4 今林（瑠）○—安河内

HR：松尾（三友ク） 3BH：山崎（三友ク）今林（卓）（奈多ク） 2BH：馬場口（奈多ク）

ともに初戦を完封で飾った奈多クラブは本格派の今林（瑠）投手、三友クラブは緩急自在の足達投手という好投手同士の一戦。初回、三友クラブは内野安打と四球で一死一二塁のチャンスを作るがエンジンの掛かってきた今林（瑠）投手が後続を連続三振に切つてとる。その裏、奈多クラブは四球、内野安打、WPで一死二三塁のチャンスを作るも後続を連続左飛にとられる。今林（瑠）投手は力で捻じ伏せ、足達投手はタイミング外し打たせてとるなど共に持ち味の出した立ち上がり。三友クラブは二回表一死、七番松尾選手がヒット、続く山崎選手が左越え適時三塁打を放ち先制。しかし山崎選手は三塁を蹴るも、奈多クラブの好中継で本塁タッチアウト。その裏、奈多クラブ七番今林（卓）選手が左越え三塁打。二死となるも九番住田選手が右前に運び同点。足達投手に対し強振せず、軽く合わせた技ありの一打だった。そして最終回となった四回表、三友クラブ先頭の松尾選手が初球をドンピシャリと合わせ貴重な勝ち越しHR！1点を追う奈多クラブはその裏、簡単に二死をとられ追い込まれるが、ここから昨年度覇者の底力をみせる。ヒットと四球で二死満塁とし、五番馬場口選手！ここで三友クラブのベンチが勝負にでる。ここまで好投を続けた足達投手に替え、センターの尾澤選手をマウンドに。1点差で勝っているが二死満塁という厳しい場面でのリリーフ。初球、二球目ともに外れ、三球目ストライク。これで落ち着いたと思った四球目を馬場口選手がバット一閃。少しこすったかに見えた打球だがグングンと伸びレフトフェンス手前の桜の木を直撃！桜の木が無ければあわやフェンスオーバーという特大の二塁打で三者が返り、2-4と逆転。奈多クラブは、エースが要所を抑え、ここぞという場面で打線が底力をみせ逆転した。今年も奈多クラブは強い！そう思わせる試合だった。敗れた三友クラブは、一番平田選手が足を活かし内野安打を3本放つも、チャンスでは中軸が今林（瑠）投手の浮き上がる球にバットが空を切りホームに迎えることができなかった。攻守ともに良いプレーがみられ、手に汗握る好試合だった。（記事・写真：和白新町パイレーツ 岩本 喬）



奈多クラブ先発の今林瑠生投手。



三友クラブ先発の足達投手。



二回表、先制打を放ち祝福される三友クラブ山崎選手。



二回裏、三塁打を放った奈多クラブ今林（卓）選手。





内野安打3本と軽快な守備を見せた三友クラブ平田三塁手。



足達投手を好リードした三友クラブ谷崎捕手。



四回表、勝越しとなるHRを放った三友クラブ松尾選手。



四回裏、二死満塁でリリーフした三友クラブ尾澤投手。



四回裏、逆転となる一打を放つ馬場口選手。



本日のヒーロー馬場口選手。

## 第4週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ!

第4週、4月30日は4試合が行われました。

雁レクAの雁の巣ライナーズ対レッドサンデーズ戦は、2年目左腕のレッド古賀（開）投手がライナーズ打線を五回1安打無失点に抑えると、打線も小技を絡め、二回までに7点を奪う。六回表にレッドは塚本投手にスイッチして4失点するも序盤のリードを活かして、4-7で嬉しい今季初勝利を挙げた。ただし、終盤のゲームの締め方に課題が残る。



奈多グラウンドの奈多サンデーズ対三苦フレンズ戦は、お互い初戦を勝利しての対戦。フレンズ山口投手は、フェニックス戦で17奪三振を挙げたが、この試合も絶好調。14奪三振でサンデーズ打線を完封すると、打線も三番生野拓磨選手を中心に先制・中押し・ダメ押しで効率よく加点し、0-6でフレンズが2連勝。山口投手が今シーズン全て投げる事が出来れば、優勝争いは確実に投手タイトルも総舐めかも？

青松園Aのブルーマーリンズ対奈多フェニックス戦は、お互い今季初勝利を目指したが、初回で明暗が分かれた。三者凡退のブルーマーリンズに対して西藤選手の先頭打者HRで波に乗ったフェニックスがその後も着実に加点して、終わってみれば0-9でフェニックスの勝利。フェニックス松本、今林勇太投手のリレーで1安打完封。フェニックスが底力を発揮したゲームだった。

青松園Bの三友クラブ対奈多クラブ戦は、奈多クラブ今林瑠生、三友クラブ足達投手の持ち味が光る一戦。三友クラブが松尾選手のHRで1点リードして迎えた最終四回裏、二死満塁からリリーフした尾澤投手から奈多クラブ五番馬場口選手が走者一掃の二塁打で勝負あり。安打数もほぼ同じ、昨年度覇者をあと一歩まで追い込んだ三友クラブ。奈多クラブ攻略のヒントがこの一戦にあるかもしれない。

GWを明けたら壮年ソフトがあり、試合間隔があくチームがあるとは思いますが、心をリフレッシュして夏に向けて頑張りましょう。